

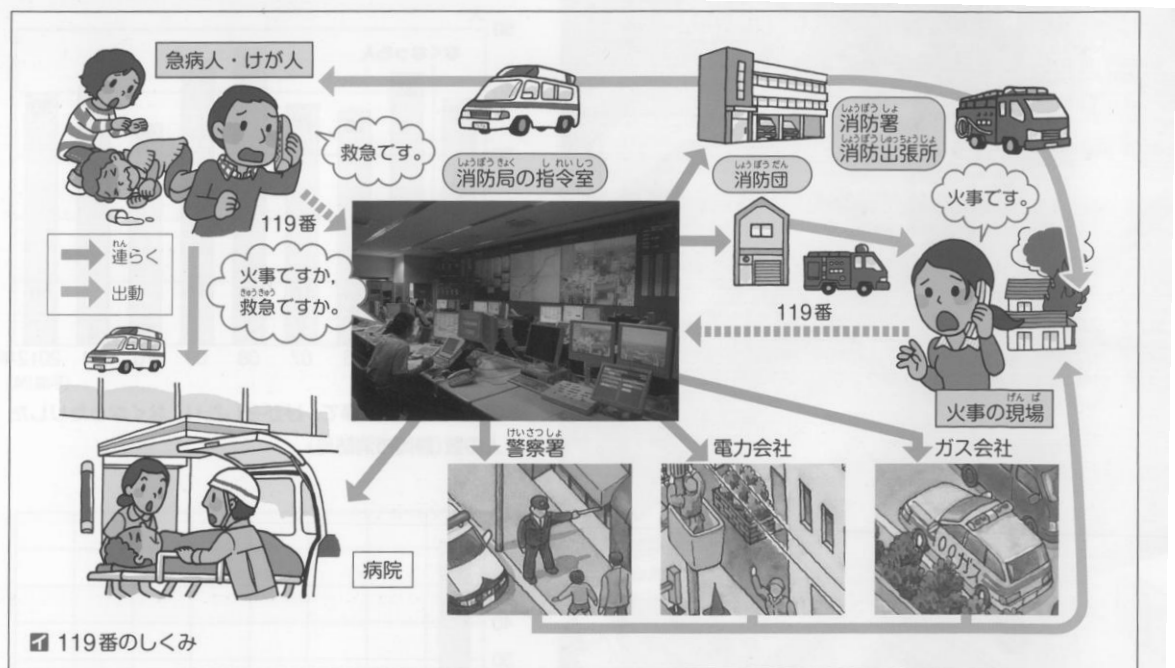
年
 
 組
 
 番 名前

**教材 7 - (3) の解答**

佐藤さんたちは、【図】のような 119 番のしくみについて学習し、  
しょうぼう  
**【消防局の司令室の人の話】** を聞きました。そして、消防局の司令室について、分かったことを話し合いました。

佐藤さん、中村さん、山本さんの話で、正しいものに○、正しくないものに×をそれぞれ書きましょう。

**【図】**



**【消防局の司令室の人の話】**

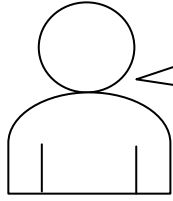
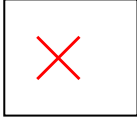
119 番の電話は、地いきの中心となる消防局の司令室で受けています。

消防や救急の仕事は、早く現場に行くことが大切です。司令室は、119 番の電話を受けると、必要な情報じょうほうを集めて、すぐに現場に近い消防署しょうぼうしよに連らくして、消防自動車や救急車を出動させます。また、火事によるひがいをできるだけ小さくするために、関係する他のところにもれんらくをします。

大きな火事の時には、他の市や町の消防署などにもおうえんをたのんで、みんなで協力して消火するようにしています。

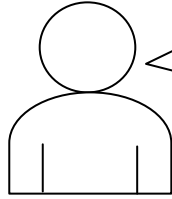
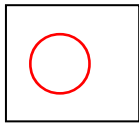
119 番の電話は、火事だけではなく、けが人や病人の救助にも使われています。人の命のかかった大切な電話なのです。

解答らん



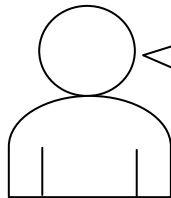
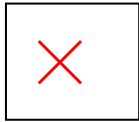
佐藤さん

119番は、けが人をすくうためだけの電話だということが分かりました。



中村さん

電力会社やガス会社などの関係するところにも連らくして、協力することが火事のひがいを小さくします。



山本さん

現場に近い消防署が119番の電話を受けているから、すぐに出動できるんだね。

見学をした後に、聞いてきたことをクラスのみんなで話し合い、ノートや模造紙にまとめてみるとよいでしょう。



